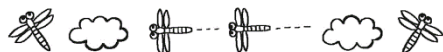


# 2024年度 園だより 10月



## きたおおじ保育園

### <片付けたらアカン>



いつもの仲間たちが車の玩具で遊んでいます。その日は取り合いのケンカもなく、穏やかに車を走らせる仲間たち。良い雰囲気保育室です。ところが、保育士たちは少しソワソワ。何故なら、お部屋が散らかり過ぎているのです！車を走らせる仲間たちのまわりには、ブロック、絵本、おままごとの野菜たちが見事に散乱しています。遊んでない玩具は片付けよう！きたおおじ保育園ではお片付けは保育士の仕事です。絵本を片付けて、ブロックを片付けて、おままごとの野菜たちを片付けようとした時ひとりの仲間が言いました。「片付けたらアカン！」どうしたのでしょうか？

誰もままごとでは遊んでいません。どうして片付けてはダメだったのでしょうか？よく見れば、並ぶ車の中に、野菜を入れる木箱が並んでいます。「これはなに？」と聞いてみると「ダンパー！！」とドヤ顔の仲間。なるほど、必要だったのは野菜や果物ではなく、それを片付ける木箱だったのです。

### <玩具にしないで>



子育てや保育の中で「それはオモチャじゃない！」とか「オモチャにしないで！」と子どもを注意する場面を見かける時があります。確かに子どもにとって危険であったり、大人にとって大切な物であったりすると、玩具にされると困ります。しかし、玩具じゃないものを玩具にできるって、すごくないですか？子どもに玩具を買い与える時に頭を悩ます事だってあるじゃないですか。せっかく買ってあげたのにぜんぜん遊んでくれないと嘆いたりするじゃないですか。保育の中でも、子どもが興味を持ちそうなもの、飽きずに遊べるもの、難しくないもの、いろいろ頭を悩ませます。でも子どもって、何でも玩具にできるんですよ。すごいなあ～！！

### <スキルの高い保育士とは>



保育科の学生が課題で“くつしたパペット”を作るそうです。コミュニケーションの不安や緊張を和らげたり、話す、聞くといった活動を支援する目的で、お人形を使った保育が役立ちます。そういった意味でも学生や新卒保育士にくつしたパペットはおすすめてです。そして、経験を重ね、スキルの高い保育士になると、パペットでなくとも、くつした1つあれば、そういった保育へと展開できるようになります。それは子どもが何でも玩具にできる能力を受け入れ、そこに敬意を表せるようになってくるからかもしれません。「靴下は玩具じゃありません！」そんな保育もあります。

### <天才だから仕方ない>



玩具にされて困るもの、それは子どもの手の届かない所に片付ければ良いだけの事なのです。ここなら大丈夫と思っていたところに手が届いた！そんな場面を叱るのではなく、すごいなあ～！成長したなあ～！と思える大人でいたいものです。もちろん危険性のある場面では「だめ！」と子どもを制止しますが、その後で、これを玩具にできるなんて、やっぱりうちの子はすごい！天才！！それでいいと思います。

10月に入ります。戸外にはお砂や砂利、落ち葉や木の実など、たくさんの玩具で溢れています。どんどん散歩に出かけて、お外でいっぱい遊んで、もりもり食べて、仲間たちが更にパワーアップするよう願っています！

主任保育士 糸井恵太

